

事業計画書

①団体名	特定非営利活動法人かさおか島づくり海社
②事業名	笠岡諸島ビジネスプラン共創プログラム
③テーマ区分	番号：5
④補助回数	*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック <input checked="" type="checkbox"/> 1回目 <input type="checkbox"/> 2回目(経過措置)
⑤現状及び課題	過疎高齢化、地域課題の先進地である「笠岡諸島」において、地域の維持すら難しい現状の中で、課題に真摯に、向き合いながら問題解決するチャレンジマインドが求められる。 一方、昔ながらの島ならではの人の絆、地域文化等が残っており、人口減少社会を迎えるにあたり、あらたに見直されてくる要素が豊富とも言える。今後、島の特徴を活かしながら、島外の人々のチャレンジ応援する中での地域の活性化も視野に入れ、島の良さを十分に感じてもらい新しいチャレンジを誘発する仕組みが求められる。
⑥事業目的	島の資源活用を通じて、新しい価値を生み出す仕組みづくりを行う必要がある、そのためには島の強みを十分に感じてもらえながら、島の方々との交流により島を好きになっていただくことが一番の近道と考え、島を舞台とした塾形式の学びの場、島の生活自体を体験できるメニュー作り、そして、ビジネスプランを構築して、島民と共に活動を行う場。仕組みの構築を行うのが目的。
⑦事業内容	○島民対象の地域資源活用の研修会 北木島・六島(講師：赤澤雅弘氏)2回 瀬戸内海の島視察1回 ○塾生が同じミッションに向かってプラン醸成を行うビジコン・報告会 ・テーマとして 空き家の活用について(北木島) 情報発信について 担い手の確保(環境整備・文化継承) ○島民を講師に島の現状把握・島体験を行う「島塾」 北木島(豊浦)で3回講座 *天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応 ZOOM等を活用し形を変えても交流の場を丁寧に構築する。
⑧事業の条件及びアピールポイント	先進性、先駆性、独創性 島の地域課題を解決するためのビジコン募集を行い、その後「島塾」を受講していただき、島との接点を持った上でのプラン提案。ビジコンの審査員は島民。選んだ島民と一緒に実現に向けての仕組みづくりを行う点。 備中地域への波及効果 離島は陸地部の過疎高齢化の先取と言われており、島での教訓が中山間地等でも十分活用できる。 その他、団体の持つ専門性やノウハウ等 島づくり海社は第2市役所と言われるほどの、島における公共に代わる住民サポートを実施しており、そのノウハウを生かすことにより島や島民個人のノウハウも生かすことが可能。

<p>⑨今年度の事業による直接の結果（アウトプット）及びその評価指標・評価方法</p> <p>※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記載</p>	<p>○島民対象の地域資源活用の研修会 北木島・六島（講師：赤澤雅弘氏）2回</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>参加予定人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>第1回</td> <td>地域資源を探そう！</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>第2回</td> <td>地域資源を磨こう！</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table>		内容	参加予定人数	第1回	地域資源を探そう！	20名	第2回	地域資源を磨こう！	20名					
		内容	参加予定人数												
	第1回	地域資源を探そう！	20名												
	第2回	地域資源を磨こう！	20名												
	<p>瀬戸内海の島視察1回 ・男木島視察予定</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>参加予定人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男木島</td> <td>石の島散策・NPO活動</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table>		内容	参加予定人員	男木島	石の島散策・NPO活動	20名								
	内容	参加予定人員													
男木島	石の島散策・NPO活動	20名													
<p>○塾生が同じミッションに向かってプラン醸成を行うビジコン、報告会 ・テーマとして 空き家の活用について（北木島） 情報発信について 担い手の確保（環境整備・文化継承）</p> <p>○島民を講師に島の現状把握・島体験を行う「島塾」 北木島（豊浦）で3回講座</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>内容</th> <th>参加予定人員</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1回</td> <td>笠岡諸島を知ろう！</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>2回</td> <td>テーマ学習</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>3回</td> <td>ビジネスプラン策定</td> <td>20名</td> </tr> <tr> <td>ビジコン報告会</td> <td>審査</td> <td>50名</td> </tr> </tbody> </table>		内容	参加予定人員	1回	笠岡諸島を知ろう！	20名	2回	テーマ学習	20名	3回	ビジネスプラン策定	20名	ビジコン報告会	審査	50名
	内容	参加予定人員													
1回	笠岡諸島を知ろう！	20名													
2回	テーマ学習	20名													
3回	ビジネスプラン策定	20名													
ビジコン報告会	審査	50名													
<p>事業参加者</p> <p>参加者アンケートにより、地域の受け入れ態勢の評価や本気度を測る。また、参加者の島へのモチベーションの変化等も把握</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>評価方法</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域の受け入れ体制評価</td> <td>参加者アンケート</td> <td>地域の受け入れ評価 80%以上</td> </tr> <tr> <td>参加者のモチベーションの変化</td> <td>参加者アンケート</td> <td>モチベーション評価 80%以上</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	評価方法	目標	地域の受け入れ体制評価	参加者アンケート	地域の受け入れ評価 80%以上	参加者のモチベーションの変化	参加者アンケート	モチベーション評価 80%以上						
評価指標	評価方法	目標													
地域の受け入れ体制評価	参加者アンケート	地域の受け入れ評価 80%以上													
参加者のモチベーションの変化	参加者アンケート	モチベーション評価 80%以上													
<p>事業実施団体</p> <p>地域課題解決の事業展開を行うことにより、スタッフの視点が地域に向きあうと共に地域の方々とのコミュニケーションが図れる点大きい。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>評価方法</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修会・島塾への参加回数</td> <td>目標に対する実績回数</td> <td>研修3回・島塾3回</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	評価方法	目標	研修会・島塾への参加回数	目標に対する実績回数	研修3回・島塾3回									
評価指標	評価方法	目標													
研修会・島塾への参加回数	目標に対する実績回数	研修3回・島塾3回													
<p>⑩今年度に期待される成果・効果（短期アウトカム）及びその評価指標・評価方法</p> <p>※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記載</p>	<p>備中地域</p> <p>外部者だけの思い付きでのビジネス提案ではなく、地域を知り、地域と共に考えるプラン醸成なので、地域課題解決には一番近い方法。中山間地でも活用可能</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>評価指標</th> <th>評価方法</th> <th>目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>報告会への中山間関係者参加者</td> <td>目標に対する参加者実績</td> <td>20名</td> </tr> </tbody> </table>	評価指標	評価方法	目標	報告会への中山間関係者参加者	目標に対する参加者実績	20名								
	評価指標	評価方法	目標												
	報告会への中山間関係者参加者	目標に対する参加者実績	20名												
	<p>事業参加者</p> <p>地域で役に立つ事業がしたいと考えている方が多いがその受け皿仕組みづくりが不十分で活かされていない。島民と参加者の交流の場づくりが参加者の意識も向上させ、地域に合った取り組みが実践される。</p>														
	<p>事業実施団体</p> <p>実施団体としては島民と参加者のマッチングをし、本事業終了後も関係人口として関係性を意識的に持ち続けることが必要であり、コーディネーター機能を身につけることが可能となる。</p>														
<p>備中地域</p>															
<p>⑪将来的に期待される成果・効果（中・長期アウトカム）</p> <p>※事業が複数の場合は、事業ごとに分けて記載</p>	<p>事業参加者</p> <p>地域で役に立つ事業がしたいと考えている方が多いがその受け皿仕組みづくりが不十分で活かされていない。島民と参加者の交流の場づくりが参加者の意識も向上させ、地域に合った取り組みが実践される。</p>														

	島しょ部だけでなく、今回の手法は中山間地でも活用できるものである。
⑫事業継続化に向けた取組及び事業展開の予定（資金確保の見通し等）	島づくり海社としての役割として、事業展開を行うことによる、関係人口の募集・塾の開催・今回交流拠点としての空き家活用。足しげく通うことによって人間関係が構築され、新たなフェーズに入る。活動のためのバックアップを継続する。初年度の塾生をOBとし、スタッフとして関わっていただく仕組みを構築する。

<記入上の注意事項>

- 1 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 2 「④補助回数」欄の2回目は、経過措置規定を適用した上で、令和5年度事業に採択された事業を令和6年度以降も継続実施している場合のみ選択ができます。
- 3 「⑤現状及び課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入してください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 4 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境等）について、「⑤現状及び課題」、受益者（対象者）等を踏まえて記入してください。
- 5 「⑦事業内容」欄は、課題解決や「⑥事業目的」における位置づけ（狙い）とともに、概要、受益者（対象者）、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応（代替案の検討、事業縮小、事業中止等）についても併せて記入してください。なお、事業が複数の場合は、それぞれの事業ごとに内容を記入してください。
- 6 「⑧事業の条件及びアピールポイント」欄は、事業条件としている広域性又は先進性、先駆性、団体の持つ専門性やノウハウ等のアピールポイントについて具体的に記入してください。なお、先進性、先駆性は、他地域での先進例や成功例等もあれば、それも参考として記入してください。
- 7 「⑨今年度の事業による直接の結果（アウトプット）及びその評価指標・評価方法」欄は今年度の活動計画及びその評価指標・評価方法を記入してください。「⑩今年度に期待される成果・効果（短期アウトカム）及びその評価指標・評価方法」欄は事業実施により得られる今年度の利益や変化及びその評価指標・評価方法について記入し、「⑪将来的に期待される成果・効果（中・長期アウトカム）」欄は、事業を継続して行うことで、将来的に得られる利益や変化について記入してください。なお、事業が複数の場合は、⑨、⑩、⑪は事業ごとに分けて記入してください。
- 8 「⑫事業継続化に向けた取組及び事業展開の予定（資金確保の見通し等）」欄は、「⑥事業目的」や「⑪将来的に期待される成果・効果（中・長期アウトカム）」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源確保の手法、事業継続の工夫等について記入してください。
- 9 記入箇所が不足する場合は、必要に応じて行挿入等を行ってください。

日 程 計 画 表

年月	事業内容	場所	規模等
5月	○島民対象の地域資源活用の研修会 北木島・六島（講師：赤澤雅弘氏）2回	北木島 六島	20名 20名
6月	瀬戸内海の島視察1回（男木島）	男木島	20名
6月～	○塾生が同じミッションに向かってプラン醸成を行うビジコン ・テーマとして 空き家の活用について（北木島） 情報発信について 担い手の確保（環境整備・文化継承） ○島民を講師に島の現状把握・島体験を行う「島塾」 北木島（豊浦）で3回講座 細内信孝（コミュニティビジネス総合研究所長）		
8月	8月 第1回島塾	北木島	20名
9月	9月 第2回島塾	北木島	20名
10月	10月 第3回島塾	北木島	20名
1月	○ビジネスプランコンテスト、報告会	笠岡	50名

<記入上の注意事項>

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください（例：〇〇市文化センター、△△市内）。不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」欄は、参加予定人数、印刷部数等数量的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。